

事務事業コード	761231	事務事業名	過疎対策事業	担当部	建設部	
政策名	1	快速で魅力あるまちづくり		担当課	土木課	
施策名	2	交通体系の充実		グループ	道路整備第1・2G	
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		電話番号	45-5111	
				内線番号	2771・2774	
予算科目	会計	一般会計				
	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	2 道路新設改良費
				コード	761231	

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do> 単位：千円

③対象 (誰、何を対象にしているのか)	④意図 (対象をどうしたいのか)	⑤結果 (どんな結果に結びつけるのか)
市民 市道 自動車の利用者・歩行者	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等	平成22年度		平成23年度		完了予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	横川～山ヶ野線	継続		継続	改良工事 L=100m (線)設計委託 L=270m	H 24	H22→H23 繰越 6,635千円 設計委託 L=270m
		横川		横川	36,635		
2	下植村～水窪線	継続	改良工事 W=5m L=269m	継続	(線)改良工事 W=5mL=269m	H 22	H22→H23 繰越 32,700千円 改良工事 L=269m
		横川	15,300	横川	32,700		
3	城山線			新規	用地補償 委託 改良工事 L=100m	H 28	
				横川	61,000		
4	宿窪田線			継続	委託設計 L=1300m	H 30	
				牧園	13,000		
5	三体堂線			継続	用地補償 一式	H 26	
				牧園	10,000		
6	落水田～万膳線			継続	改良工事 L=100m	H 25	H22は道路新設改良 事業
				牧園	27,000		
7	龍石線	継続	(線)改良工事 L=100m (線)用地補償 一式	継続	改良工事 L=140m	H 27	H21→H22 繰越 14,167千円 改良工事 用地
		牧園	14,167	牧園	5,000		
8	牧野柴建線			継続	用地補償 一式 委託設計 L=380m	H 25	
				福山	5,000		
9	宝瀬線			継続	用地補償 一式 改良工事 L=100m	H 27	H22は道路新設改良 事業
				福山	18,700		
10	大屋敷線			継続	用地補償 委託 改良工事 L=100m	H 25	H22は道路新設改良 事業
				福山	21,000		

<地区別>

継続 = 3 新規 = 0 継続 = 9 新規 = 1

		H 22	H 23	<全体事業費>	平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国分				事業費	29,467	230,035	200,568
溝辺				事務費			0
横川	2	3		合計	2路線 29,467	10路線 230,035	8 路線 200,568
牧園	1	4		<財源内訳>			
霧島				平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)	
隼人				国庫補助金			0
福山		3		県支出金			0
				地方債	29,300	229,600	200,300
				その他			0
				一般財源	167	435	268
				合計	29,467	230,035	200,568

(2)事務事業に対する住民意見等	
① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられている。	② この事務事業に対する議会から出された意見 牧野柴建線など本路線の道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられた。



事務事業コード	761170	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	担当部	建設部
				担当課	土木課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路維持グループ
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2761
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 年度
	款	8	土木費		
	項	2	道路橋梁費	根拠法令・条例等	道路法 第42条第1項
	目	1	道路橋梁維持費		
コード	761170				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要		② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)		③ 事業に対する議会から出された意見	
<p>高度経済成長期に架設された大量の橋梁が、一斉に老朽化し橋の寿命が近づきつつあることにより事業を開始した。</p> <p>長寿命化修繕計画に基づく計画的かつ予防的管理を行い、橋梁の長寿命化を図る。その結果、橋梁が一斉的に劣化・損傷することが回避でき、安心安全な交通の確保と橋梁に係る長期的な費用の縮減を図る。</p> <p>全橋の概略点検実施→詳細点検→長寿命化計画書作成→長寿命化計画に沿って事業(補修工事)申請→事業(補修工事)実施→完了</p>		特になし		<p>平成19年度第3回(9月)定例会市議会において市議より、橋梁の点検管理に係る一般質問が行われるなど、市民の関心が高まっている。</p> <p>質問内容は、15m以上の道路橋の数や耐用年数、点検・管理状況に関するものであった。</p>	
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)		④ 意図 (対象をどうしたいのか)		⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	
ア 市民		計画的で予防的な管理を行うことにより、橋梁を長寿命化する。		安全・快適に移動ができる。	
イ 霧島市が管理する道路橋梁					
全体計画 ( H 21 ~ )		平成21年度までの実施状況		平成22年度実績	
		橋梁概略点検647橋を実施		詳細点検:健全度が低い、または重要な橋梁について抽出し、詳細な点検を実施する。	
				長寿命化修繕計画の策定:計画の目的、対象橋梁、現状把握及び維持管理補修方針、点検計画、修繕・架け替え計画、事業効果を計画策定する。	
平成24年度計画		平成25年度計画		平成26年度計画	
橋梁修繕工事及び定期点検を行う。		橋梁修繕工事及び定期点検を行う。			
				平成27年度以降計画	

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 ( H 21 ~ )				H 22年度 決算 (A)	H 23年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)	
	単独	補助	合計				
国		114,143	114,143	23,700	23,000	▲ 700	3% 減
県				-9,630		---	---
地方債				14,070	23,000	8,930	63% 増
辺地債				7,361	12,650	5,289	72% 増
過疎債							
合併特例債							
その他							
一般財源		104,895	104,895	6,709	10,350	3,641	54% 増
計		219,038	219,038	14,070	23,000	8,930	63% 増

単位:千円

事務事業コード	761170	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

区分	全体計画 ( H 21 ~ )			平成21年度までの 実施状況			平成22年度 (実績)			平成23年度 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量				橋梁概略点検647橋を実施			詳細点検:健全度が低い、または重要な橋梁について抽出し、詳細な点検を実施する。			長寿命化修繕計画の策定:計画の目的、対象橋梁、現状把握及び維持管理補修方針、点検計画、修繕・架け替え計画、事業効果を計画策定する。		
1 報酬												
2 給料												
3 職員手当等												
4 共済費												
7 賃金												
8 報償費												
9 旅費												
10 交際費												
11 需用費												
消耗品費												
燃料費												
食料費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役務費												
通信運搬費												
広告料												
手数料												
保険料												
13 委託料		49,038	49,038		11,968	11,968		14,070	14,070		23,000	23,000
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費		170,000	170,000									
16 原材料費												
17 公有財産購入費												
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金												
23 償還金・利子・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計		219,038	219,038		11,968	11,968		14,070	14,070		23,000	23,000
財源内訳	国	114,143	114,143		9,132	9,132		7,361	7,361		12,650	12,650
	県											
	地方債											
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債											
	その他											
一般財源	104,895	104,895		2,836	2,836		6,709	6,709		10,350	10,350	
計	219,038	219,038		11,968	11,968		14,070	14,070		23,000	23,000	
補助率	国	—		—		1/2		1/2				
	県	—		—								
補助基本額	—		—									

平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	23,700
補正予算	(9,630)
合計	14,070

第1回			第4回		
第2回			第5回		
第3回			第6回		

第7回		
第8回		(9,630)

単位:千円

事務事業 コード	761170	事務 事業名	橋梁長寿命化修繕事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

区 分	平成24年度 (計画)			平成25年度 (計画)			平成26年度 (計画)			平成27年度以降 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量	橋梁修繕工事及び定期点検を行う。			橋梁修繕工事及び定期点検を行う。								
1 報酬												
2 給料												
3 職員手当等												
4 共済費												
7 賃金												
8 報償費												
9 旅費												
10 交際費												
11 需用費												
消耗品費												
燃料費												
食料費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役務費												
通信運搬費												
広告料												
手数料												
保険料												
13 委託料												
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費		70,000	70,000		100,000	100,000						
16 原材料費												
17 公有財産購入費												
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金												
23 償還金・利子・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計		70,000	70,000		100,000	100,000						
財源内訳	国		35,000	35,000		50,000	50,000					
	県											
	地方債											
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債											
	その他											
一般財源		35,000	35,000		50,000	50,000						
計		70,000	70,000		100,000	100,000						
補助率	国	1/2			1/2							
県												
補助基本額												

事務事業コード	761170	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	橋梁の劣化・損傷を計画的に補修することで、安心安全で快適に移動ができることにつながる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道に架かる橋梁の管理は、管理者である市の責務であるので市が行うことが妥当である。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	計画年度とおりに進捗している。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	橋梁長寿命化修繕を廃止・休止することは、橋梁の老朽化が進み膨大な修繕料が必要となり、また、通行の安全が図れなくなる。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	調査に基づいて、コスト削減を図り補修計画をたてて実施することから削減余地はない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	専門性の高い調査や補修計画は委託業務を行い、事業遂行は正規職員で行っているため削減余地はない。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道橋は、不特定の市民が利用することから受益者は特定できない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は、施策体系に沿って適切に実施されている。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	市道に架かる636橋の橋梁について、平成23年度に橋梁長寿命化修繕計画を作成する。そこで、橋梁の健全度や緊急性を考慮し橋梁の長寿命化に向けて予算の標準化を検討する。

事務事業コード	761710	事務事業名	市道・橋梁台帳整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	管理グループ
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2763、2764
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	8	土木費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 17 年度~)
	項	1	土木管理費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )	
	目	1	土木総務費	根拠法令・条例等	道路法、道路法施行規則
コード	761710				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績				
市道の管理を行うために、市が管理する道路(市道)や橋梁の台帳(図面)を整備する。手順としては、市道や橋梁の認定・廃止・変更を行い、その後、台帳の補正を行う。台帳を整備することにより、市有地と民地の境界が明確になり、市道の全体像を把握し、機能確保を図れる。			市道台帳の再編を進めながら、市内全域の道路台帳のデジタルシステム化を完了させた。				
			平成23年度計画				
			市道台帳の再編を完了し、議会の承認を得る。				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	認定・変更・廃止路線数	本	12	30	4,317	15	
イ							
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	市道(認定・認定外)	市道延長	Km	1,568	1,568	1,568	1,568
イ	橋梁	橋梁数	橋	660	660	660	660
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	市道・橋梁の情報が管理できる	霧島市道路台帳再編計画達成度	%	80	95	100	100
イ	〃						
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	安全・快適に移動ができる	改良率	%	54.9	55.0	57.0	57.0
イ	安全・快適に移動ができる	渋滞箇所数	箇所	9	9	8	8

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 市町合併により霧島市としての台帳整備が必要になり、平成17年度より開始している。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 特になし	
	当初予算額	23,720			17,660
	補正予算額	8,000			
	予算合計	31,720	17,660		
決算額	国庫補助金	0	③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 特になし	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特になし	
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	31,702			
	支出合計	31,702			

事務事業コード	761710	事務事業名	市道・橋梁台帳整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費									
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料									
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	31,702		31,702	17,660		17,660	16,000		16,000
14 使用料及び賃借料									
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	31,702		31,702	17,660		17,660	16,000		16,000

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	31,702		31,702	17,660		17,660	16,000		16,000
計	31,702		31,702	17,660		17,660	16,000		16,000

補助率	国	—	—	—
	県	—	—	—
補助基本額				

平成22年度	当初予算	23,720 千円		
	補正予算	8,000 千円		
	第1回	第5回		
	第2回	第6回		
	第3回	第7回(12月)	8,000	
	第4回	第8回		
予算合計	31,720 千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	761710	事務事業名	市道・橋梁台帳整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	台帳を整備することにより、市有地と民地の境界が明確になり、市道の全体像を把握し、機能確保を図れることから、しいては、安全で快適な移動ができることになる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道という「市の財産」の全体像を管理することは、道路管理者の責務である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市道・橋梁の情報を管理するためのものであり、対象・意図とも妥当である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	台帳再編については順調に進んでおり、平成22年度には100%整備できた。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	新規・改良路線の詳細が把握できず、財産の管理・機能確保ができなくなる上に、地方交付税の算定基礎数値の変更ができない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	法にある「要素仕様」であり削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	台帳の基礎部分は、市職員が作成しているが、必要最小限の事務であり、削減の余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の機能確保の為に基礎資料の台帳を整備することなので、偏りはなく、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道路線の再編及び新規認定を行いながら、林務水産課・耕地課と連携し農道・林道から市道への移管、市道から農道・林道への移管を行い、お互いの管理物件の整理を図っていく。 また、広域に及ぶ業務のため、一定の地域に偏らないように配慮する必要がある。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果 道路改良等に伴い完成した道路等の台帳整備。 市有財産の管理用資料の作成及び地方交付税等の資料として利用できる。	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容 道路改良等に伴い完成した道路等の台帳整備

事務事業コード	761110	事務事業名	地方改善施設整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路維持グループ
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2761
予算科目	会計	一般会計			
	款	8 土木費	項 2 道路橋梁費	目 1 道路橋梁維持費	コード 761110

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do> 単位：千円

③対象 (誰、何を対象にしているのか)	④意図 (対象をどうしたいのか)	⑤結果 (どんな結果に結びつけるのか)
市民 市道	狭小道路が改修され移動がしやすくなる。	安全・快適に移動ができる。

番号	路線名等	平成22年度		平成23年度		完了予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	向花3号線	新規	工事L=90m	継続	工事L=73m	H 23	
		国分	25,190	国分	25,000		
2	湊9号線	新規	工事L=120m	継続	工事	H 23	H22→H23繰越
		国分	4,000	国分	7,500		
3	高日山線			新規	用地測量・用地・補償費	H 25	
				国分	6,726		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

<地区別>

継続 = 0 新規 = 2 継続 = 2 新規 = 1

	H 22	H 23
国分	2	3
溝辺		
横川		
牧園		
霧島		
隼人		
福山		

<全体事業費>	平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
事業費	29,190	39,226	10,036
事務費	471	690	219
合計	2路線 29,661	3路線 39,916	1路線 10,255

<財源内訳>	平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国庫補助金	13,513	15,595	2,082
県支出金			0
地方債			0
その他			0
一般財源	16,148	24,321	8,173
合計	29,661	39,916	10,255

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 地区自治公民館から、まちづくり計画書による要望がある。	② この事務事業に対する議会から出された意見 救急車輛の通れない狭小道路の改善について議会で質問がでている。
--	---

事務事業コード	761110	事務事業名	地方改善施設整備事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	集落道路である狭小道路の改修により、市民が安全・快適に移動ができることにつながる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道(集落道路)の改修は、管理者である市の事務であるので市が行うことが妥当である。
B 有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	集落道路の改修を廃止・休止することで、市民の安全・快適な通行が図れなくなる。
C 効率性評価	④ 事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	改修の工法については、コスト削減を考慮して決定することから削減余地はない。
	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	高度な測量設計は委託業務を行い、事業遂行を正規職員で行っているため削減余地はない。
D 公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道は、不特定の市民が利用することから受益者は特定できない。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は、施策体系に沿って適切に実施されている。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	生活道路の改築、排水施設の改修など、まちづくり計画等により市民からの要望が、近年、増加の傾向にある。そこで、事業実施にあたっては、緊急性など優先順位を決め公正、公平に事業の推進を図る。

事務事業コード	761311	事務事業名	地方道路整備事業(交付金)	担当部	建設部
担当課				担当課	土木課
政策名	1	快速で魅力あるまちづくり		グループ	道路整備第1・2G
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2771・2774
予算科目	会計	一般会計			
款	8	土木費	項	2	道路橋梁費
			目	3	幹線市道整備事業費
				コード	761311

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do> 単位：千円

③対象 (誰、何を対象にしているのか)	④意図 (対象をどうしたいのか)	⑤結果 (どんな結果に結びつけるのか)
市民 市道 自動車の利用者・歩行者	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等	平成22年度		平成23年度		完了予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	住吉東線	継続	用地補償一式(繰越)	継続	用地補償一式(繰越含む)	H 25	H21→H22:66,009千円 H22→H23:36,221千円 用地補償一式
		隼人	66,009	隼人	126,221		
2	(仮称)新川北線	新規		継続	(繰)橋梁設計 L=285m	H 32	H22→H23 繰越 82,000千円 橋梁設計 一式
		隼人		隼人	82,000		
3	馬立北原線	継続	用地補償一式 (繰)改良工事L=230m	継続	用地補償一式 改良工事 W=10.25mL=210m	H 26	H21→H22 繰越 52,060千円 改良工事L=230m
		溝辺	56,111	溝辺	50,000		
4	泉水～市後柄線	継続	補償一式	継続	用地補償一式 改良工事 W=7m L=73m	H 26	
		霧島	980	霧島	30,000		
5	宮迫～梅ノ木線	継続	法面工事 L=150m	継続	用地補償一式 法面工事 L=150m	H 23	
		霧島	24,451	霧島	30,000		
6	(維持G) 福島府中線	新規		継続	(繰)道路舗装 一式	H 22	H22→H23 繰越 30,000千円 道路舗装 一式
		国分		国分	30,000		
7	(維持G) 宮迫～梅ノ木線	新規		継続	(繰)道路舗装 一式	H 22	H22→H23 繰越 30,446千円 道路舗装 一式
		霧島		霧島	30,446		
8							
9							
10							

<地区別> 継続 = 4 新規 = 3 継続 = 7 新規 = 0

		H 22	H 23	<全体事業費>	平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国分	1	1		事業費	147,551	378,667	231,116
溝辺	1	1		事務費			0
横川				合計	4路線 147,551	5路線 378,667	1路線 231,116
牧園				<財源内訳>			
霧島	3	3		国庫補助金	82,018	208,258	126,240
隼人	2	2		県支出金			0
福山				地方債	50,800	123,600	72,800
				その他			0
				一般財源	14,733	46,809	32,076
				合計	147,551	378,667	231,116

(2)事務事業に対する住民意見等	
① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅および道路新設の早期着工、早期完成の要望が寄せられている。	② この事務事業に対する議会から出された意見 住吉東線など本路線の道路拡幅および道路新設の早期着工、早期完成の要望が寄せられた。

事務事業コード	761311	事務事業名	地方道路整備事業(交付金)	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事務事業を実施することにより、市民が安全快適に移動することができるようになり、市の政策の「快適で魅力あるまちづくり」に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公共施設の整備は、市の義務であり、幹線道路を整備する事は妥当である。
B 有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市民が安全快適に移動できなくなり、市の政策の「快適で魅力あるまちづくり」が実現不可能になる。
C 効率性評価	④ 事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト削減を図っている。
	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務は勤務時間内で対応することで人件費の抑制を行っている。
D 公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路整備は公共性が高く、不特定多数の人が利用することから、公平性は保たれる。また、受益者負担は求めている。

総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国からの交付金が要求どおり交付されずに厳しい財政状況の中、事業を進めている状況である。今後も、市民の要求に応えられるよう、早期完成を目指して事業を推進する。

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	広範囲にわたる事業実施箇所になるが、できるだけ現場に赴き、現地での声を生かした道路改良事業を実施していく。

事務事業コード	761230	事務事業名	地方特定道路整備事業	担当部	建設部
担当課				担当課	土木課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路整備第1・2G
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2771・2774
予算科目	会計	一般会計			
款	8	土木費	項	2	道路橋梁費
			目	2	道路新設改良費
				コード	761230

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位：千円

③対象 (誰、何を対象にしているのか)	④意図 (対象をどうしたいのか)	⑤結果 (どんな結果に結びつけるのか)
市民 市道 自動車の利用者・歩行者	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等	平成22年度実績		平成23年度計画		完了予定	備考
		区分		区分			
1	川跡～松木線	継続	用地補償一式 改良工事 W=16m L=133m	継続	用地補償一式 改良工事L=189m(繰)L=133m	H 26	H22→H23 繰越 21,600千円 改良工事 一式
		国分	19,361	国分	81,600		
2	駅前通り線	新規	用地補償一式	継続	設計委託一式 改良工事 W=20m L=120m	H 24	
		国分	78,149	国分	36,000		
3	高千穂～泉水線	継続	設計委託 L=300m	継続	用地補償一式 改良工事 L=120m	H 24	
		霧島	2,835	霧島	17,000		
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

<地区別>

継続 = 2 新規 = 1 継続 = 3 新規 = 0

		H 22	H 23	<全体事業費>	平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国分		2	2	事業費	100,345	134,600	34,255
溝辺				事務費			0
横川				合計	3路線 100,345	3路線 134,600	34,255
牧園				<財源内訳>			
霧島		1	1		平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
隼人				国庫補助金			0
福山				県支出金			0
				地方債	76,500	121,100	44,600
				その他			0
				一般財源	23,845	13,500	▲ 10,345
				合計	100,345	134,600	34,255

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅および道路新設の早期着工、早期完成の要望が寄せられている。	② この事務事業に対する議会から出された意見 川跡～松木線など本路線の道路拡幅および道路新設の早期着工、早期完成の要望が寄せられた。
--	---



事務事業コード	761111	事務事業名	道路維持改良事業	担当部	建設部	
				担当課	土木課	
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路維持グループ	
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111	
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2761	
予算科目	会計	一般会計				
	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	1 道路橋梁維持費
				コード	761111	

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位：千円

③対象 (誰、何を対象にしているのか)	④意図 (対象をどうしたいのか)	⑤結果 (どんな結果に結びつけるのか)
市民 市道	狭小道路の改修や破損の激しい舗装や側溝などの補修を行い、移動をしやすくする。	安全・快適に移動ができる。

番号	路線名等	平成22年度		平成23年度		完了予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	道場口～剣之宇都線(2)	新規	工事L=353m			H 22	H21→H22繰越
		国分		14,283			
2	道場口～剣之宇都線(3)	新規	工事L=470.8m			H 22	H21→H22繰越
		国分		12,165			
3	梅ヶ谷～萩之元線(2)	新規	工事L=320m			H 22	H21→H22繰越
		国分		3,475			
4	梅ヶ谷～萩之元線(3)	新規	工事L=550m			H 22	H21→H22繰越
		国分		8,400			
5	東郷宮内線	新規	工事L=117m			H 22	H21→H22繰越
		隼人		5,408			
6	下井～湊2号線	新規	工事L=500m			H 22	H21→H22繰越
		国分		3,780			
7	上之段～塚脇線	新規	工事L=400m			H 22	H21→H22繰越
		国分		4,095			
8	田方見次線他	新規	工事L=80m			H 22	H21→H22繰越
		隼人		3,224			
9	北原石原3号線	新規	工事L=100m			H 22	H21→H22繰越
		溝辺		2,153			
10	桑迫向田線	新規	工事L=250m			H 22	H21→H22繰越
		溝辺		2,247			
<b>&lt;地区別&gt;</b>		継続 = 10	新規 = 58	継続 = 20	新規 = 29		

	H 22	H 23
国分	14	10
溝辺	6	8
横川	6	5
牧園	11	8
霧島	10	7
隼人	14	7
福山	7	4
合計	68	49

<全体事業費>		平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
事業費		270,563	250,400	▲ 20,163
事務費				0
合計		68路線 270,563	49路線 250,400	▲ 29 路線 ▲ 20,163

<財源内訳>		平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国庫補助金		79,937	82,270	2,333
県支出金				0
地方債				0
その他				0
一般財源		190,626	168,130	▲ 22,496
合計		270,563	250,400	▲ 20,163

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 自治会や市民から狭小道路の改修、舗装の補修、側溝等の改修などの要望がある。	② この事務事業に対する議会から出された意見 特になし
--	--------------------------------

番号	路線名等	平成22年度		平成23年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
11	下植村水窪線	新規	工事L=65m			H 22	H21→H22繰越
		横川	16,450				
12	馬場迫線	新規	工事L=60m			H 22	H21→H22繰越
		横川	3,927				
13	中野～内之野線	新規	工事L=400m			H 22	H21→H22繰越
		牧園	2,268				
14	轟木～健崎線	新規	工事L=200m			H 22	H21→H22繰越
		牧園	2,751				
15	塩浸線交差点改良他	新規	工事L=20m 駐車場2000㎡			H 22	H21→H22繰越
		牧園	9,029				
16	橋口4号線	新規	工事L=80m	継続	委託 用地	H 25	H21→H22繰越
		霧島	1,922	霧島	1,500		
17	梅ノ木～北永野田線	新規	工事L=45m			H 22	H21→H22繰越
		霧島	1,752				
18	磯新堀線(1)	新規	工事L=530m			H 22	H21→H22繰越
		福山	4,410				
19	小廻一本松線	新規	工事L=200m			H 22	H21→H22繰越
		隼人	1,659				
20	高日山線	新規	委託			H 22	
		国分	2,940				
21	郡田線	新規	委託			H 22	
		国分	494				
22	参宮線(府中)	継続	工事L=120m	継続	工事L=125m	H 23	
		国分	14,490	国分	12,000		
23	清水7号線	継続	工事L=60m			H 22	
		国分	3,623				
24	敷根18号線	新規	委託 用地			H 22	
		国分	719				
25	国分上井(生活道路)	新規	工事L=68m			H 22	
		国分	2,730				
26	湊～上小川線	新規	L=160m			H 22	
		国分	2,226				
27	福島～府中線	新規	委託			H 22	
		国分	462				
28	高江山之口線	継続	用地	継続	工事L=80m	H 25	
		隼人	2,886	霧島	4,500		
29	里上線	新規	工事L=90m	継続	工事L=100m	H 23	H22→H23繰越
		隼人	3,833	隼人	5,000		
30	宮内小田線	継続	工事L=170m			H 22	
		霧島	5,171				
31	参宮線(神宮)	新規	委託	継続	工事L=100m	H 24	H22→H23繰越
		霧島	998	隼人	10,000		
32	姫城線	継続	工事L=130m			H 22	
		隼人	2,363				
33	嘉例川中道線	新規	工事L=20m			H 22	
		隼人	3,885				
34	木之房上野線	新規	工事L=500m			H 22	
		隼人	5,928				
35	高畑線	継続	工事L=60m	継続	工事L=70m	H 23	H22→H23繰越
		隼人	4,620	隼人	5,000		

番号	路線名等	平成22年度		平成23年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
36	野久美田清水線	継続	工事L=60m	継続	工事L=55m	H 26	
		隼人	4,977	隼人	3,000		
37	高城線	新規	用地補償			H 22	
		隼人	4,179				
38	新川東西線	新規	工事L=154.5m			H 22	
		隼人	7,510				
39	小浜馬場線	新規	工事L=75m			H 22	
		隼人	2,909				
40	神宮前3号線	新規	工事L=124m			H 22	
		霧島	2,919				
41	久保山大内田線	新規	工事L=140m 委託 用地補償			H 22	
		溝辺	14,318				
42	高速側道山神線	新規	工事L=100m	継続	工事L=120m	H 24	
		溝辺	2,625	溝辺	4,500		
43	宮川内石井口上牟田線	継続	工事L=70m	継続	工事L=103m	H 24	H22→H23繰越
		溝辺	4,883	溝辺	8,500		
44	上床線	新規	用地			H 22	
		溝辺	46				
45	鍋ヶ迫崎山線	継続	工事L=70m	継続	工事L=620m	H 23	H22→H23繰越
		横川	2,478	横川	9,000		
46	山ヶ野木浦線	新規	工事L=610m			H 22	
		横川	4,200				
47	二牟礼岩穴線	新規	工事L=600m	継続	工事L=300m	H 30	
		横川	6,000	横川	4,000		
48	下植村下新原線	新規	工事L=50m 用地			H 22	
		横川	3,889				
49	石坂～黒岩線	新規	工事L=15m	継続	工事L=32m	H 23	H22→H23繰越
		牧園	3,749	牧園	2,300		
50	枇杷首線	新規	工事L=86m			H 22	
		牧園	1,920				
51	七又線	新規	委託 用地			H 22	
		牧園	90				
52	川原～日の出線	新規	工事L=60m			H 22	
		牧園	2,846				
53	栗川～八丁線	継続	工事L=200m	継続	工事L=199m	H 25	H22→H23繰越
		牧園	1,281	牧園	4,000		
54	牧園中央線	新規	工事L=100m	継続	工事L=200m	H 23	
		牧園	2,846	牧園	5,000		
55	牧園中央線(2)	新規	安全施設			H 22	
		牧園	1,428				
56	牧園高千穂(生活道路)	新規	用地			H 22	
		牧園	137				
57	中原法ヶ崎線	新規	委託			H 22	
		霧島	2,845				
58	川原田～本池線	新規	委託	継続	工事L=45m 補償	H 23	H22→H23繰越 9,000千円
		霧島	470	霧島	10,500		
59	泉水永池線	新規	工事L=50m	継続	工事L=80m	H 23	
		霧島	1,155	霧島	2,500		
60	宮下3号橋	新規	委託			H 22	
		霧島	315				

番号	路線名等	平成22年度		平成23年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
61	宮迫梅ノ木線	新規	委託			H 22	
		霧島	273				
62	前川内割子田線	新規	工事(A=250㎡) 用地	継続	工事L=30m	H 24	
		福山	8,980	福山	11,500		
63	磯新堀線	新規	退避場(3箇所) 用地補償	継続	退避場(2箇所)	H 23	H22→H23繰越 3,300千円
		福山	4,939	福山	6,300		
64	牧之原十文字線	新規	工事L=160m	継続	工事L=105m	H 23	H22→H23繰越
		福山	2,570	福山	2,500		
65	土地改良区19号	新規	工事L=110m	継続	工事L=50m	H 25	H22→H23繰越
		福山	6,825	隼人	5,200		
66	平野線	新規	工事L=11m			H 22	
		福山	1,900				
67	湊橋線	新規	工事L=220m			H 22	
		福山	4,116				
68	西牧ノ原団地線	新規	用地			H 22	
		隼人	179				
69	大王～鞍掛線			新規	工事L=40m	H 23	
				国分	2,300		
70	国分中央(生活道路)			新規	工事L=60m	H 23	
				国分	1,800		
71	久保田3号線			新規	委託 用地補償	H 25	
				国分	3,200		
72	岩戸～新町線			新規	工事L=40m	H 23	
				国分	5,750		
73	湊地区(生活道路)			新規	道路隅切(2箇所)	H 23	
				国分	1,650		
74	新川野口線			新規	工事L=170m 委託	H 23	
				隼人	7,000		
75	内山田原南線			新規	工事L=90m 委託	H 24	
				隼人	5,000		
76	高畑中須線			新規	委託	H 25	
				霧島	2,500		
77	馬立北原線(久保山)			新規	委託	H 26	
				溝辺	5,500		
78	馬立北原線(論地)			新規	工事L=40m 委託 用地補償	H 23	
				溝辺	2,600		
79	迫玉利線			新規	工事L=20m 委託 用地補償	H 23	
				溝辺	3,200		
80	向植村線			新規	工事L=40m 委託 用地補償	H 24	H22→H23繰越 5,000千円
				横川	5,800		
81	牧場～真頭線			新規	工事L=204m 補償	H 23	
				横川	8,500		
82	横瀬～荒田橋線			新規	用地補償	H 23	
				牧園	1,150		
83	七又～浅谷線			新規	委託	H 23	
				牧園	500		
84	川津原線			新規	工事L=380m 用地補償	H 23	
				牧園	15,500		
85	松瀬～前田線			新規	委託 用地補償	H 24	
				霧島	5,000		

番号	路線名等	平成22年度		平成23年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
86	土地改良区27号線			新規	工事L=90m	H 24	
				福山	3,000		
87	向花～清水線			新規	工事L=250m 委託	H 23	H22→H23繰越
				国分	23,350		
88	姫城3号線			新規	工事L=100m	H 23	H22→H23繰越
				国分	4,000		
89	国分上之段地区			新規	工事L=50m	H 24	H22→H23繰越
				国分	3,200		
90	石原通り線			新規	工事L=110m	H 23	H22→H23繰越
				溝辺	1,700		
91	南十三塚原線			新規	工事L=140m	H 23	H22→H23繰越
				溝辺	1,800		
92	西団地・俵ヶ迫線			新規	工事L=260m	H 25	H22→H23繰越
				溝辺	2,600		
93	横伏敷紫尾田線			新規	工事L=60m	H 23	H22→H23繰越
				横川	2,500		
94	宿窪田線			新規	工事L=380m	H 23	H22→H23繰越
				牧園	5,000		
95	市内一円			新規	安全施設	H 23	H22→H23繰越
				牧園	2,000		
96	大丸線			新規	工事L=260m	H 23	H22→H23繰越
				霧島	5,500		
97	敷根17号線			新規	工事L=50m	H 23	
				国分	2,000		
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							

事務事業コード	761111	事務事業名	道路維持改良事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の改修や補修を行うことで、市民が安全・快適に移動ができることにつながる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の改修・補修は、管理者である市の事務であるので市が行うことが妥当である。
B 有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市道の改修・補修を廃止・休止することで、市民の安全・快適な通行が図れなくなる。
C 効率性評価	④ 事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	改修や補修の工法は、コスト削減を考慮して決定することから削減余地はない。
	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	高度な測量設計は委託業務を行い、業務遂行を正規職員で行っているため削減余地はない。
D 公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道は、不特定の市民が利用することから受益者は特定できない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は、施策体系に沿って適切に実施されている。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	生活道路の改築、排水施設の改修など、まちづくり計画等により市民からの要望が、近年、増加の傾向にある。そこで、事業実施にあたっては、緊急性など優先順位を決め公正、公平に事業の推進を図る。

事務事業コード	761112	事務事業名	道路維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	土木課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路維持グループ
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2761
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	8	土木費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度~)
	項	2	道路橋梁費	根拠法令・条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	1	道路橋梁維持費		道路法
コード	761112				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績				
霧島市全域の市道の維持管理のため、清掃や修繕・改修を行う事業。 主な業務内容は次のとおり。 ①市道の陥没や側溝閉塞、雑草等により見通しの悪い箇所などを通常巡回や、利用者からの通報により把握 ②現場状況確認 ③実施要否判断 ④関係機関と協議 ⑤修繕や改修工事・委託の発注 ⑥工事委託終了後の検査 ※日常的に住民が使用する生活道路については、清掃等を周辺地域の自治会に協働で行ってもらっている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕工事</li> <li>・草払い委託</li> <li>・街路樹管理委託</li> </ul>				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	道路補修・側溝修繕箇所数	箇所	474	520	530	550	
イ	草払い延長	Km	634	726	800	900	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	市道利用者及び周辺住民	市内人口	人	127,662	127,512	128,868	129,098
イ	霧島市内の市道	市内の市道延長	Km	1,573	1,577	1,580	1,590
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	住民の安全を図る。市道が良好な状態に保たれる。	対応率(修繕・改修箇所数/修繕・改修が必要と判断された箇所数)	%	76	85	85	85
イ	〃	市道利用者、周辺住民からの苦情件数	件	1,341	1,223	1,300	1,300
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	安全・快適に移動ができる。	改良率	%	55	55	57	57
イ	〃	渋滞箇所数	箇所	9	9	8	8

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	219,622	221,780	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか？ 昭和27年の道路法の改定により、市道の整備並びに維持管理が市町村の義務となった。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか？ 市道の老朽化と交通量の増加による舗装の劣化や、側溝等の不具合が多く発生している。また高齢化社会により地域住民で行っていた草払いが出来ない地域が増えており、それに伴い市で対応してほしいとの要望も年々増加してきている。
	補正予算	18,584			
	予算合計	238,206	221,780	③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 市道の維持修繕は道路利用者だけでなく、地域住民にも多大な影響があるために、早急な対応が求められている。 住民からの苦情や要望の内容としては、「草払い」「側溝改修」「道路舗装の補修」が多い。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 21年度9月議会で、「中山間地域では高齢化が進み自治会で草払いなどの管理が困難になっているが、今後どのように考えるか」の質問がなされた。
決算額	国庫補助金	0			
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0			
	一般財源	237,751			
	支出合計	237,751			

事務事業コード	761112	事務事業名	道路維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	6,975		6,975	7,197		7,197	7,200		7,200
8 報償費									
9 旅費									
10 交際費									
11 需用費	124,287		124,287	123,283		123,283	132,500		132,500
消耗品費	4,651		4,651	2,300		2,300	2,300		2,300
燃料費	119		119	204		204	200		200
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料	119,517		119,517	120,779		120,779	130,000		130,000
12 役員費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	95,333		95,333	81,995		81,995	85,000		85,000
14 使用料及び賃借料	2,415		2,415	2,505		2,505	2,500		2,500
15 工事請負費									
16 原材料費	8,741		8,741	6,800		6,800	7,000		7,000
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	237,751		237,751	221,780		221,780	234,200		234,200

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	237,751		237,751	221,780		221,780	234,200		234,200
計	237,751		237,751	221,780		221,780	234,200		234,200

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	219,622 千円		
	補正予算	18,584 千円		
	第1回		第5回	
	第2回(7月)	16,400	第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	2,184
予算合計	238,206 千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	
※第8回以降の補正予算内訳 第9回(3月) ▲1,364千円 流用(1月) 3,548千円	

事務事業コード	761112	事務事業名	道路維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の修繕や草払いを行うことで、道路の利用者が安全・快適に移動ができる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道の維持管理は道路法に基づき管理者である市の責務であり、市道の安全を確保するという点から妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	市道を安全に通行できるようにするための事業であり、対象・意図ともに適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	道路の劣化により年々修繕の箇所が増え、高齢化により市道の草払いの要望も増えている。また、修繕料や草払い委託料の経費の確保も難しく、現状としては、修繕による改善や草払いの作業延長を伸ばすことは難しい状況である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	市民の最も身近な生活道路である市道の維持管理を廃止・休止することは、円滑な車輛通行の妨げとなり、事故の誘発を招く。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	市道の劣化が進む中、道路の補修や、高齢化による草払いの要望が年々増加している。このような状況では、事業費の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在は、草払いや修繕については、委託や請負により、市道の維持管理を継続的に行っている。職員は、住民からの苦情・要望処理や現場での状況判断、また、専門的知識を要する工法検討など対応する業務が多く、人件費を削減する余地はない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	住民からの苦情・要望は地域によって偏りはあるが、市が行うパトロールなども含めて要否を判断しているため、公平性は保たれている。道路管理は、受益者負担を求める事業には該当しない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路の維持管理は、市民が安全で快適な通行を図るための事業であるので、今後も市道の保全に努めなければならない。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 [現状維持の場合でも、(3)具体的な改善計画を記載してください。]	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果 道路施設の劣化の進行、及び、高齢化による路傍草払いが実施困難になる地域の増加などにより、道路維持管理の費用が増える傾向にある。そこで、道路維持管理の方法について、課内に道路維持検討会を設置し協議する。	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容 平成23年度に引き続き継続する。

事務事業コード	761213	事務事業名	道路新設改良事業	担当部	建設部	
				担当課	土木課	
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路整備第1・2G	
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111	
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2771・2774	
予算科目	会計	一般会計				
	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	2 道路新設改良費
				コード	761213	

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do> 単位：千円

③対象 (誰、何を対象にしているのか)	④意図 (対象をどうしたいのか)	⑤結果 (どんな結果に結びつけるのか)
市民 市道 自動車の利用者・歩行者	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる。

番号	路線名等	平成22年度		平成23年度		完了予定	備考		
		区分	実績	区分	計画				
1	清水～国分線	継続	設計委託 L=90m	継続	改良工事 W=10.5m L=45m	H24			
		国分	483	国分	25,500				
2	府中21号線	継続	用地 一式	継続	改良工事 W=9.75m L=40m	H24			
		国分	10,250	国分	12,600				
3	東郷宮内線	継続	設計委託 L=109m	継続	用地補償 一式 改良工事 歩道W=2.5m L=109m	H24			
		隼人	2,940	隼人	25,600				
4	小浜海岸線	継続	設計委託 L=320m 用地補償 一式	継続	設計委託 L=280m 改良工事 W=5.0m L=125m	H27			
		隼人	4,203	隼人	14,300				
5	大屋敷線	継続	設計委託 L=540m			H25	H23より過疎対策事業		
		福山	5,355						
6	上小川14号線	継続	用地 一式			H22			
		国分	375,853						
7	天降川東通り線	継続	用地 一式 改良工事 L=140m	継続	改良工事 W=10.25m L=200m	H25			
		国分	23,379	国分	29,000				
8	山下～名波線	継続	改良工事 L=133m	継続	改良工事 W=13.0m L=140m	H24			
		国分	19,005	国分	21,000				
9	宮内山口線	継続	設計委託、用地 一式 改良工事 L=150m	継続	改良工事 W=5.0m L=170m 用地補償 一式	H26			
		隼人	21,834	隼人	22,500				
10	鳥ヶ池線	継続	用地補償 一式 改良工事 L=90m	継続	改良工事L=100m(繰)L=90m 用地補償 一式	H26	H22→H23繰越 5,700千円 改良工事 L=90m		
		隼人	430	隼人	13,400				
<b>&lt;地区別&gt;</b>		継続 =	14	新規 =	1	継続 =	16	新規 =	4

	H 22	H 23
国分	5	10
溝辺		1
横川		
牧園	2	1
霧島		
隼人	6	7
福山	2	1

<b>&lt;全体事業費&gt;</b>		平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
事業費		471,028	317,750	▲ 153,278
事務費				0
合計		13路線 471,028	20路線 317,750	7路線 ▲ 153,278

<b>&lt;財源内訳&gt;</b>		平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国庫補助金		8,977	9,450	473
県支出金		22,500	20,000	▲ 2,500
地方債		27,300	167,400	140,100
その他		0	48,500	48,500
一般財源		412,251	72,400	▲ 339,851
合計		471,028	317,750	▲ 153,278

<b>(2)事務事業に対する住民意見等</b>	
① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅および道路新設の早期着工、早期完成の要望が寄せられている。	② この事務事業に対する議会から出された意見 山下～名波線など本路線の道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられた。

番号	路線名等	平成22年度		平成23年度		完了 予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
11	豊丸線	継続	用地補償 一式	継続	(繰)改良工事L=83m	H22	H22→H23繰越 6,300千円 改良工事L=83m
		隼人	6,600	隼人	6,300		
12	長浜中央線	継続	用地 一式			H22	
		隼人	555				
13	塩浸線	新規	補償 一式			H22	
		牧園	141				
14	宝瀬線	継続		継続	(繰)設計委託 一式	H27	H22→H23繰越 8,100千円 設計委託 一式 H23より過疎対策事業
		福山		福山	8,100		
15	落水田～万膳線	継続		継続	(繰)用地補償 一式	H25	H22→H23繰越 2,250千円 用地補償 一式 H23より過疎対策事業
		牧園		牧園	2,250		
16	鎮守尾～上之原線			新規	実施設計 W=9.75m L=300m	H25	
				国分	8,000		
17	川跡～有下線			継続	実施設計 W=14.0m L=500m	H30	
				国分	6,500		
18	市公民館前通り線			新規	用地買収 一式	H24	
				国分	25,000		
19	広瀬～野口線他5路線			継続	建物調査 一式	H25	
				国分	4,000		
20	天降川東通り2号線			継続	改良工事 W=9.25m L=37m	H26	
				国分	32,800		
21	新川上線			新規	実施設計 L=110m 建物調査 1棟	H25	
				隼人	3,700		
22	宮内松山線			継続	改良工事 W=5.0m L=65m	H23	
				隼人	8,500		
23	立岩糸走線			継続	改良工事 W=7.0m L=149m 補償 一式	H24	
				溝辺	46,400		
24	スマートインター可能性調査			新規	概略設計 N=3箇所	H23	
				国分	2,300		
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							



事務事業コード	761220	事務事業名	辺地対策道路整備事業	担当部	建設部	
				担当課	土木課	
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	道路整備第1・2G	
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111	
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2771・2774	
予算科目	会計	一般会計				
	款	8 土木費	項	2 道路橋梁費	目	2 道路新設改良費
				コード	761220	

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位：千円

③対象 (誰、何を対象にしているのか)	④意図 (対象をどうしたいのか)	⑤結果 (どんな結果に結びつけるのか)
市民 市道 自動車の利用者・歩行者	通行の安全が図られる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等	平成22年度		平成23年度		完了予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	口輪野～永迫線	継続	(線)橋梁上部工L=51m 取付道路L=270m補償費一式	継続	用地補償 改良工事 W=7m L=200m	H 26	H21→H22 繰越 83,261千円 橋梁上部工L=51m
		国分	123,613	国分	30,000		
2	持松線	継続	改良工事 W=7m L=180m	継続	改良工事 W=7m L=180m	H 23	
		牧園	36,225	牧園	65,000		
3	真方～白崎線	継続	改良工事 W=7m L=320m 補償費 一式			H 22	
		牧園	31,522				
4	永池～狩川線	継続	設計委託 L=260m	継続		H 26	H23は補正予算にて 対応予定
		霧島	4,760	霧島			
5	狭名田～水流山線	継続		継続	用地補償 工事(暫定) W=6.5mL=100m	H 24	
		霧島	0	霧島	26,000		
6	大窪～笹之段線	継続	設計委託 L=60m	継続	用地補償 委託 改良工事 L=80m	H 26	
		霧島	3,045	霧島	39,000		
7							
8							
9							
10							

<地区別>

継続 = 6 新規 = 0 継続 = 5 新規 = 0

	H 22	H 23
国分	1	1
溝辺		
横川		
牧園	2	1
霧島	3	3
隼人		
福山		

<全体事業費>	平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
事業費	199,165	160,000	▲ 39,165
事務費			0
合計	5路線 199,165	4路線 160,000	▲ 1 路線 ▲ 39,165

<財源内訳>	平成22年度決算(A)	平成23年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国庫補助金			0
県支出金			0
地方債	194,200	160,000	▲ 34,200
その他			0
一般財源	4,965		▲ 4,965
合計	199,165	160,000	▲ 39,165

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか？ 各路線に対して、地元自治会等から道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられている。	② この事務事業に対する議会から出された意見 口輪野～永迫線など本路線の道路拡幅の早期着工、早期完成の要望が寄せられた。
---	---



事務事業コード	761410	事務事業名	河川維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	土木課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	河川港湾グループ
施策名	4	防災対策の推進		電話番号	45-5111
基本事業名	2	災害危険箇所の整備		内線番号	2781、2782
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	8	土木費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H 19 年度~)
	項	3	河川費	根拠法令・ 条例等	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	目	1	河川管理費		
	コード	761410			
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績				
河川は、上流の水を速やかに下流に流す必要があることから、市が管理する河川(準用河川65本、普通河川99本)の堤防陥没・浸食等、小規模な被災箇所の修繕補修や除草など日常管理を行う。			既設護岸や堤防の維持管理、補修・修繕等を行った。(寄州除去工事等4箇所繰越分)				
			平成23年度計画				
			既設護岸や堤防の維持管理、補修・修繕等を行う。				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度 (見込)	
ア	工事箇所	箇所	4	4	0	0	
イ							
ウ							
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度 (見込)	
ア	維持補修の必要な河川	維持補修の必要な河川の数	箇所	6	11	10	10
イ							
ウ							
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度 (見込)	
ア	安全安心で、快適な生活ができるようにする。	対応率(修繕箇所/修繕が必要と判断された箇所数)	%	67	100	100	100
イ							
ウ							
⑦ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (見込)	24年度 (見込)	
ア	安全性が確保される	危険箇所数に対する整備済箇所数の割合 = 工事進捗率(砂防関係)	%	31.1	31.1	32.5	33.0
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	22年度 (決算)	3,505	23年度 (予算)	3,505	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 公共土木施設災害復旧事業に該当しない小規模な被災箇所の復旧、堤防の維持補修および除草を行うことで、安全性の確保を図る目的で平成19年度より開始した。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 豪雨、台風等により被害状況は異なるが、局所的な集中豪雨などが発生し易く、また、護岸施設の経年劣化等により小規模な堤防の陥没・吸い出し、路肩の決壊など増える傾向にある。
	補正予算		0				
	予算合計		3,505		3,505		
決算額	国庫補助金		1,800			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 市民から、被災箇所を小規模な被災の段階で復旧し、被災箇所の拡大及び二次災害の防止を図るために、早急な整備が求められている。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 住民の生活に密接に関係しているため、早めの対応(補修・修繕等)を求められている。
	県支出金		0				
	地方債		0				
	その他		0				
	一般財源		1,666				
支出合計		3,466					

事務事業コード	761410	事務事業名	河川維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金									
8 報償費									
9 旅費				5		5			
10 交際費									
11 需用費				2,000		2,000			
消耗品費									
燃料費									
食料費									
印刷製本費									
光熱水費									
修繕料				2,000		2,000			
12 役務費									
通信運搬費									
広告料									
手数料									
保険料									
13 委託料	1,491		1,491	500		500			
14 使用料及び賃借料	1,975		1,975	1,000		1,000			
15 工事請負費									
16 原材料費									
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金									
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利息・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	3,466		3,466	3,505		3,505			

財源内訳	国	1,800	1,800					
	県							
	地方債							
	辺地債							
	過疎債							
	合併特例債							
	その他							
一般財源	1,666	1,666	3,505	3,505				
計	3,466	3,466	3,505	3,505				

補助率	国				
	県				
補助基本額					

平成22年度	当初予算	3,505 千円		
	補正予算			
	第1回		第5回	
	第2回		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回		第8回	
予算合計	3,505 千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	761410	事務事業名	河川維持管理事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	河川は、上流の水を速やかに下流に流す必要があることから、堤防陥没・浸食等の小規模な被災箇所を修繕・補修を行うことは、防災対策の推進につながり、安全性が確保されることに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市は、公共施設の維持管理を行う義務があり、堤防陥没・浸食等の小規模な被災箇所を修繕・補修することで、防災対策の推進につながるため、市が関与することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	堤防陥没・浸食等の小規模な被災箇所を整備することで、大規模な災害防止につながることから、現状の対象・意図を見直す必要はない。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	堤防陥没・浸食等の被災箇所を小規模な段階で最小必要限度の範囲で補修・修繕を行っている。これらは、防災対策の推進に寄与している。しかしながら、豪雨等による堆積土砂の除去、老朽化や経年劣化による施設の維持管理については、継続的に努めなければならない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	河川堤防の陥没・決壊などの被災箇所において、修繕・補修を廃止・休止することは二次災害に繋がり、冠水・浸水被害などを招く恐れがある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	最小必要限度内での修繕や補修であるため、事業費の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	施工のための工事費積算・現場指導は、職員が担当することになる。これらは市職員でなければ対応できない業務となるため削減はできない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公共施設(河川)の整備であり、受益者が特定できないし一部の住民に限られるものでもない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は、政策体系に沿って適切に実施されている。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 [現状維持の場合でも、(3)具体的な改善計画を記載してください。]	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果 異常な天然現象である豪雨等による河川堤防の陥没・決壊・河床低下等が見受けられる。平成23年度も管理河川の維持管理や住民要望に対処し、災害の軽減・未然防止を図る。	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容 異常な天然現象である豪雨等による河川堤防の陥没・決壊・河床低下等が見受けられる。平成24年度も管理河川の維持管理や住民要望に対処し、災害の軽減・未然防止を図る。

事務事業コード	761412	事務事業名	県単急傾斜崩壊対策事業	担当部	建設部
				担当課	土木課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	河川港湾グループ
施策名	4	防災対策の推進		電話番号	45-5111
基本事業名	2	災害危険箇所への整備		内線番号	2781、2782
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 63 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( ~ )
	款	8	土木費		
	項	3	河川費	根拠法令・条例等	鹿児島県単急傾斜地崩壊対策事業補助金要綱
	目	1	河川管理費		
コード	761412				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

<b>① 手段</b> (事務事業の概要) 急傾斜地崩壊危険箇所において、土砂災害から住民の生命・財産の保護を図るため、防災工事などの対策工事を実施する。 1. 傾斜度30度以上 2. 高さ5m以上 3. 人家5戸以上(5戸未満でも、官公署、災害時要援護者関連施設、学校、旅館等のある箇所を含む)		平成22年度実績 国分・山元地区 法面工 溝辺・宮川内6地区 法面工 防護柵工 平成23年度計画 国分・山元地区 法面工 後本戸地区 法面工 溝辺・宮川内6地区 法面工 竹山地区 法面工 霧島・床浪地区 法面工 後谷地区 法面工					
<b>② 活動指標</b> (事務事業の活動量)			単位 21年度(実績) 22年度(実績) 23年度(見込) 24年度(見込)				
ア	工事箇所数	箇所	2	2	6	5	
イ							
ウ							
<b>③ 対象</b> (誰、何を対象にしているのか)	<b>④ 対象指標</b> (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	急傾斜地危険箇所の防護区域内の住民	世帯数	戸	3,699	3,699	3,699	3,699
イ		危険箇所数	箇所	633	633	633	633
ウ							
<b>⑤ 意図</b> (対象をどうしたいのか)	<b>⑥ 成果指標</b> (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	土砂災害から住民の生命、財産を守る	危険箇所数に対する整備済箇所数の割合=工事進捗率	%	31.5	32.0	32.5	33.0
イ							
ウ							
<b>⑦ 結果</b> (どんな結果に結びつけるのか)	<b>⑧ 上位成果指標</b> (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	安全性が確保される	危険箇所数に対する整備済箇所数の割合=工事進捗率(砂防関係)	%	31.1	31.1	32.5	33.0
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

当初予算額 補正予算 予算合計	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 急傾斜地崩壊危険箇所に指定され、県単急傾斜地崩壊対策事業の採択要件を満たしている地区で、土砂災害から住民の安全確保を図るため、昭和63年から事業導入を行ったものである。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 県補助金が年々縮小されており、工事完成までに期間を要するようになった。
	20,500			
	12,000			
32,500	0		③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 住民からは、早期完成の要望がなされている。特に昨年の豪雨により、被災箇所が増えたため、要望箇所も増加した。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 住民の生命・財産の保全に関する事業であるため、要望箇所への早めの事業導入が求められている。
国庫補助金	0			
県支出金	16,250			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	16,250			
支出合計	32,500			

事務事業コード	761412	事務事業名	県単急傾斜崩壊対策事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬								
2	給料								
3	職員手当等								
4	共済費								
7	賃金								
8	報償費								
9	旅費								
10	交際費								
11	需用費								
	消耗品費								
	燃料費								
	食料費								
	印刷製本費								
	光熱水費								
	修繕料								
12	役員費								
	通信運搬費								
	広告料								
	手数料								
	保険料								
13	委託料		3,000		7,000	7,000			
14	使用料及び賃借料								
15	工事請負費		29,500		47,000	47,000			
16	原材料費								
17	公有財産購入費								
18	備品購入費								
19	負担金補助・交付金								
20	扶助費								
21	貸付金								
22	補償補填及び賠償金								
23	償還金・利息・割引料								
24	投資及び出資金								
25	積立金								
26	寄附金								
27	公課費								
28	繰出金								
	計		32,500		54,000	54,000			

財源内訳	国								
	県		16,250	16,250		27,000	27,000		
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源		16,250	16,250		27,000	27,000			
計		32,500	32,500		54,000	54,000			

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	20,500千円		
	補正予算	12,000千円		
	第1回		第5回	
	第2回		第6回	
	第3回		第7回(12月)	15,000
	第4回		第8回(3月)	▲3,000
予算合計	32,500千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳
参加費等の事業実施のための収入説明

事務事業コード	761412	事務事業名	県単急傾斜崩壊対策事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	急傾斜地の崩壊の恐れのある災害危険箇所における土砂災害から、市民の生命・財産を守ることは市の役割であり、防災対策の推進を図ることに結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	急傾斜地崩壊の恐れのある災害危険箇所において、土砂災害から住民の生命・財産を守るために対策工事を行うことは、市の義務であり妥当性がある。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	急傾斜地の崩壊箇所の防災対策を行うことは、土砂災害から市民の生命・財産を守ることになり、安全性が確保されることから、対象・意図は適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input type="checkbox"/> 向上余地がある	急傾斜地の崩壊箇所の防災対策を行うことで、急傾斜地危険箇所が減少し安全性の確保が図られる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	急傾斜地の崩壊危険箇所は数多く存在しているため、廃止・休止すると災害危険箇所の整備がなされないことになり、安全性の確保が図れなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等) 治山事業等(林務水産課) 採択基準や事業の目的が違うため連携できない。
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	標準工法による整備が原則であり削減は難しいが、箇所ごとに現地状況等を勘案しながら事業費削減の検討を行う必要がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	用地無償譲渡に向けた地権者との交渉や工事費積算・現場指導を職員が担当することになる。これらは、市職員でなければ対応できない業務となるため、削減はできない。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	実施箇所の住民が受益対象となるため、受益者負担の是非の協議が必要かもしれない。しかしながら、市内には危険箇所も多く、県営事業の採択基準に該当しない箇所を本事業で行うことになるが、県営事業には受益者負担金が伴わないことから、本事業でも同様の扱いで、負担金を徴収していない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業は、施策体系に沿って適切に実施されている。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続 現状維持の場合でも、(3)具体的な改善計画を記載してください。	
(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果 市内には、急傾斜地の崩壊危険箇所は数多く存在している。特に平成22年度においては豪雨による被災箇所が多くあり、その中でも緊急を要する4箇所の危険箇所と、継続箇所である2箇所を整備し、住民の生命・財産の安全確保を図る。	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容 平成23年度に引き続き、危険箇所の整備を行い、住民の生命・財産の保全を図る。

事務事業コード	761414	事務事業名	総合治水対策事業	担当部	建設部
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		担当課	土木課
施策名	4	防災対策の推進		グループ	河川港湾グループ
基本事業名	6	治水対策の推進		電話番号	45-5111
				内線番号	2781、2782
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 16 年度 ~ 平成 年度
	款	8	土木費		
	項	3	河川費	根拠法令・条例等	
	目	1	河川管理費		
コード	761414				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
<p>国分市街地及び国分、隼人地区の天降川流域周辺部で、豪雨時に発生している床上・床下浸水並びに道路が冠水するなどの被害を低減するために、排水施設の新設・改良、貯留施設の整備などによる対策工事を行うものである。</p> <p>平成16年度は、国分地区の基本構想および基本計画の作成、17年度～20年度にかけて国分中央ブロックの実施計画、測量調査、基本設計及び一部の実施設計を行っている。隼人地区については、18年度～20年度にかけて基本計画、実施計画、基本設計を作成済みである。</p> <p>平成22年度までに国分の府中地区や中央四丁目付近の排水路の改良工事が完了している。平成23年度以降は、国分中央ブロック、隼人の東郷及び姫城の排水施設の詳細設計や排水施設の整備に着手する予定である。</p>	<p>住民より早急な浸水解消の要望が寄せられている。</p>	<p>早急な実施を望む意見が多い。</p>
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 浸水被害を受けると予想される住民と地域	豪雨時における浸水被害の低減が図られる	水害の被害が軽減される
イ 治水対策が必要な箇所		

全体計画 ( H 16 ~ )	平成21年度までの実施状況	平成22年度実績	平成23年度計画
世帯数 1,579世帯 整備計画箇所 5箇所 要整備延長 (L=2,920m)	総合治水対策事業基本計画策定 総合治水対策事業実施計画策定 総合治水対策東郷・姫城基本測量設計 府中地区排水路改良工事 L=250.3m 中央四丁目地区水路詳細設計 総合治水事業河川事前協議資料作成	H21繰越 事業費C=33,667千円 中央四丁目排水路改良工事 L=198m (W=1.00m) 排水路実施設計 (府中地区) 排水路実施設計 (東郷地区) 排水路実施設計 (姫城地区)	排水機場実施設計 (奈良田地区) 地質調査 (奈良田地区) 排水機場実施設計 (姫城地区) 地質調査 (姫城地区)
平成24年度計画	平成25年度計画	平成26年度計画	平成27年度以降計画
排水機場実施設計 (東郷地区) 地質調査 (東郷地区) 用地補償 排水機場整備工事 (奈良田) 排水路整備工事 (奈良田) 排水路整備工事 (姫城) 用地補償	排水機場整備工事 (奈良田) 排水路整備工事 (奈良田) 排水路整備工事 (姫城) 用地補償	排水機場整備工事 (奈良田) 排水機場整備工事 (東郷) 排水路整備工事 (東郷) 排水機場整備工事 (姫城) 排水路整備工事 (姫城)	排水機場整備工事 (東郷) 排水路整備工事 (東郷) 排水機場整備工事 (姫城) 排水路整備工事 (姫城) 排水路実施設計 (中央四丁目) 排水路整備工事 (中央四丁目)

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 ( H 16 ~ )			
	単独	補助	合計
国		57,800	57,800
県			
地方債	1,584,000		
辺地債			
過疎債			
合併特例債			
	1,584,000		1,584,000
その他	51,500		51,500
一般財源	282,648	25,518	308,166
計	1,918,148	83,318	2,001,466

	H 22年度 決算 (A)	H 23年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	31,200	60,000	28,800	92% 増
補正予算額			---	---
予算合計	31,200	60,000	28,800	92% 増
国庫補助金				
県支出金				
地方債				
その他		51,500	51,500	増
一般財源	29,295	8,500	▲ 20,795	71% 減
支出合計	29,295	60,000	30,705	105% 増

単位:千円

事務事業 コード	761414	事務 事業名	総合治水対策事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

区分	全体計画 ( H 16 ~ )			平成21年度までの 実施状況			平成22年度 (実績)			平成23年度 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量	世帯数 1,579世帯 整備計画箇所 5箇所 要整備延長(L=2,920m)			総合治水対策事業基本計画策定 総合治水対策事業実施計画策定 総合治水対策東郷・姫城基本測量 設計 府中地区排水路改良工事 L=250.3m 中央四丁目地区水路詳細設計 総合治水事業河川事前協議資料 作成			H21繰越 事業費C=33,667千円 中央四丁目排水路改良工事 L=198m(W=1.00m) 排水路実施設計(府中地区) 排水路実施設計(東郷地区) 排水路実施設計(姫城地区)			排水機場実施設計(奈良田地区) 地質調査(奈良田地区) 排水機場実施設計(姫城地区) 地質調査(姫城地区)		
1 報酬												
2 給料												
3 職員手当等												
4 共済費												
7 賃金												
8 報償費												
9 旅費												
10 交際費												
11 需用費												
消耗品費												
燃料費												
食料費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役務費												
通信運搬費												
広告料												
手数料												
保険料												
13 委託料	151,148		151,148	23,853		23,853	29,295		29,295	60,000		60,000
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費	1,603,000	83,318	1,686,318	15,000	83,318	98,318						
16 原材料費												
17 公有財産購入費	145,000		145,000									
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金	19,000		19,000									
23 償還金利子・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計	1,918,148	83,318	2,001,466	38,853	83,318	122,171	29,295		29,295	60,000		60,000
財源内訳	国		57,800	57,800		57,800						
	県											
	地方債	1,584,000		1,584,000								
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債											
	その他	1,584,000		1,584,000								
	一般財源	51,500		51,500							51,500	
計	282,648	25,518	308,166	38,853	25,518	64,371	29,295		29,295	8,500		8,500
補助率	国		—			—						
補助基本額	県		—			—						

平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	31,200
補正予算	
合計	31,200

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	
第3回		第6回			

単位:千円

事務事業 コード	761414	事務 事業名	総合治水対策事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

区 分	平成24年度 (計画)			平成25年度 (計画)			平成26年度 (計画)			平成27年度以降 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	排水機場実施設計(東郷地区) 地質調査(東郷地区) 用地補償 排水機場整備工事(奈良田) 排水路整備工事(奈良田) 排水路整備工事(姫城) 用地補償			排水機場整備工事(奈良田) 排水路整備工事(奈良田) 排水路整備工事(姫城) 用地補償			排水機場整備工事(奈良田) 排水機場整備工事(東郷) 排水路整備工事(東郷) 排水機場整備工事(姫城) 排水路整備工事(姫城)			排水機場整備工事(東郷) 排水路整備工事(東郷) 排水機場整備工事(姫城) 排水路整備工事(姫城) 排水路実施設計(中央四丁目) 排水路整備工事(中央四丁目)			
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費													
10 交際費													
11 需用費													
消耗品費													
燃料費													
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料	30,000		30,000							8,000		8,000	
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	226,000		226,000	301,000		301,000	438,000		438,000	623,000		623,000	
16 原材料費													
17 公有財産購入費	60,000		60,000	60,000		60,000	20,000		20,000	5,000		5,000	
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金													
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金				14,000		14,000				5,000		5,000	
23 償還金・利息・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	316,000		316,000	375,000		375,000	458,000		458,000	641,000		641,000	
財源内訳	国												
	県												
	地方債	257,400		257,400	337,500		337,500	412,200		412,200	576,900		576,900
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債												
	計	257,400		257,400	337,500		337,500	412,200		412,200	576,900		576,900
その他													
一般財源	58,600		58,600	37,500		37,500	45,800		45,800	64,100		64,100	
計	316,000		316,000	375,000		375,000	458,000		458,000	641,000		641,000	
補助率	国												
県													
補助基本額													

事務事業コード	761414	事務事業名	総合治水対策事業	担当部	建設部
				担当課	土木課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	宅地の浸水被害や道路冠水の低減を図り治水対策を推進し、水害被害の防止を行うことで、防災対策の推進に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公共施設である道路の冠水から通行車両及び歩行者の安全を確保し、また、地域住民を浸水被害から守るため、市が関与することは妥当である。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	治水対策には、多額な事業費が必要であるが、少ない事業費で浸水軽減を図った箇所もある。しかしながら、残りの箇所については、補助事業の導入も図りたい。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	浸水被害が見られる地域の周辺部の農地の宅地化が進み、遊水地が減少する状況の中で、廃止・中止することは被害がさらに拡大する恐れがある。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	浸水被害が発生している箇所の多くが住宅密集地に位置しており、用地確保及び工事に多額の経費が必要となる。しかしながら施設設置場所を道路等の公共用地を最大限に利用しているため経費の削減余地は無い。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	地元説明会、用地取得のための地権者との交渉、施設設計の委託費積算や工事費積算及び現場指導を職員が担当することになる。これらは、市の職員でなければ対応できない業務のため削減できない。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	道路冠水から通行車両及び歩行者の安全を確保し、水害から住民を守るための整備であり、一部の住民に限られるものではない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	毎年のように浸水被害が発生していることから早急に整備しなければならない事業である。実施には多額の事業費を必要とすることから、施設を設置する場合は可能な限り道路等の公共用地を利用し、施策に基づき事業を行う。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	治水対策には、多額な事業費が必要である。少ない事業費で浸水軽減を図った箇所もあるが、まだ多くの箇所については、未整備で多額の事業費を要することから、下水道事業(雨水計画)等の補助事業の導入を図る必要がある。